

竜王町こども計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

(1)コメントの募集期間

令和7年1月27日～令和7年2月7日

(2)コメントの状況

提出数:2件

2. 意見の内容と町の考え方

計画全般について			
No.	コメント内容	頁	意見に対する町の考え方
1	(民生委員児童委員の役割について) 課題3にもあるように地域において相談相手がいない割合が上昇しているとあるので、児童委員も兼ねる民生委員の役割が一定あると思われます。学校や行政と連携して活動する主任児童委員も行政から委嘱されていることから、本計画において民生委員児童委員についても触れておくことが必要ではないでしょうか。	76	実施体制の関係団体の主なものとして、社会福祉協議会、民生委員児童委員を追加しました。
第4章 施策の展開			
No.	コメント内容	頁	意見に対する町の考え方
2	地域児童健全育成事業について、地域児童健全育成事業(5人以上・年30回以上開催等への奨励金交付)として町ホームページにも掲載されているが、平成30年より現在も自治会に対しての「竜王町未来へつなぐまちづくり交付金」の特別加算「子育て支援事業」となり、「子育て支援に資する継続的な事業(スクールガード・学童保育等)」については、おおむね週1回以上、通年(10か月以上)で実施するもの。」と移行していると思われる。本ページの掲載内容とは別のものでしょうか。別のものでなければ、現在の内容と名称に統一するべきではないでしょうか。	52	ご意見の通り、地域児童健全育成事業については、実態として、未来へつなぐまちづくり交付金に移行しております。そのため、計画への記載は、「未来へつなぐまちづくり交付金(子育て支援活動)」と変更します。
3	シルバーキッズルームについて、「稼働していない、受け入れできていないが事業はやめていない」状況ということで掲載されているとのことだが、1月にシルバー人材センターで幼児の玩具を不要処分されていたとのこと。この先5年の計画をつくるにあたり、実態がないものもあるものとして掲載するのではなく、実施可能性も確認の上、掲載するのが良いのではないかと。そうでないと足りないものが見えて来づらい。なお、正式名称は「シルバー・きっず・るーむ きらきら」(竜王こども・子育て応援ガイドすくすく P25)	52	シルバー人材センターに確認したところ、事業は廃止しておらず、令和7年度以降も受け入れは可能とのこと。正式名称に修正します。
4	地域子育てサロン・子育てサークル支援事業について、町ホームページで記載が見つからない。内容は？以前保健センターでサポートされていた「子育てサークルポップコーンキッズ」の活動が該当していたかもしれませんが、現在は？まちづくり交付金の特別加算「子育て支援事業」は自治会に対しての奨励金なので、任意団体・グループの活動を支える意味での「子育てサークル支援事業」を新設実施してほしいです。現在、任意団体が申請できる竜王町まちづくり活動の支援事業では、1団体につき、2回が限度で、継続への支援にはならない。誰もが安心して子育てできる環境づくりやつながりづくりにために自ら動き、活動する母親たちへの支援が必要だと思う。	52	地域子育てサロン・子育てサークル支援事業については、実態として、未来へつなぐまちづくり交付金に移行しております。そのため、計画への記載は、未来へつなぐまちづくり交付金(子育て支援活動)に変更します。

5	困難を抱えるこども・若者・・・の主な事業として、「相談支援コトノハ」の掲載をしてはどうか。(ほかの掲載と同じく名称があるほうが実態がわかりやすくてよい)	56	ご意見の通り、追記しました。ただし、コトノハ以外の相談支援事業所も利用されており、「障害者(児)相談支援事業」として追記します。
6	個別的な課題への支援では、現在各所と連携して進めている家庭教育支援事業(アウトリーチ型)も含まれるのではないかと。関係課として生涯学習課も含めてはどうか。	56	ご意見の通り、追記しました。
7	ヤングケアラーへの対応についての記述がないがどうしてか。	50 56	竜王町において、子ども・若者育成支援推進法に定められているヤングケアラーに該当するケースは現時点では確認されていないことから、ヤングケアラーに特化した取組は行っておりませんが、ヤングケアラーなどを含む支援を必要とするこどもの早期発見・早期対応を行うことを追記しました。
8	社会福祉協議会が実施している事業(委託事業を除く)も記載していただけるとありがたいです。 ●こども若者が安全・安心に暮らせるまちづくりの【主な取組】に「社会を明るくする運動」を追加してはどうでしょうか。	57	ご意見の通り、追記しました。
9	基本目標2に関する成果指標として、基本目標2 こども・若者の夢の実現を応援する地域づくりに対して、「こども・若者が応援されていると実感している」かどうかが大変な視点ではないか。その点で、P36～37のアンケート結果「相談する相手はいない」が14.6%(小学生)、14.8%(中学生)、「自分は家族に大切にされていると思う」「不安に感じることがある」「自分はひとりぼっちだと感じることがある」(小学生)、「孤独を感じることがある」(中学生)について、その数値変化をもたらすための取組がなされるのではないかと。よって指標に加えるべきではないか。	58	ご意見のとおり、こども・若者が応援されていると実感しているかどうかは大変な視点であると考えます。ご意見いただいた中で、「自分は家族に大切にされていると思う」「不安に感じることがある」の2項目について指標に追加し、その他の項目についても、アンケート結果の変化は引き続き追いかけていくこととします。
10	重層的な相談窓口の設置という点では自立支援課も含まれるのではないかと。	59	ご意見の通り、追記しました。
11	生活福祉資金貸付事業については、社会福祉協議会の事業ですので、実施者に社会福祉協議会を記載していただけるとありがたいです。	60	ご意見の通り、追記しました。
12	【主な取組】に、民生委員児童委員による「こんにちは！赤ちゃん訪問」の実施を追加してはどうか。	62	ご意見の通り、追記しました。
13	竜王町保健センターにおける預かり保育について、計画としてはこのままでよいが、記載の「保護者の病気や冠婚葬祭などの私用、または休息時間の確保のために・・・」という目的にかなうように、現行の「利用希望日の3日前までに保健センター(2階窓口)で予約」を見直していただきたい。病気や体調不良、急な不幸など本当に助けたいときに対応いただけるように。当然満席などで対応不可の場合もあると思うが、ダメもとで電話する人がいて、救済される一方で、ルールが提示されているからとそれできない人もおられる。	70	現在、保育人員の確保のため、チラシ等において「3日前に予約」をお願いしていますが、本事業は受け入れ態勢が整ってあれば当日利用も可能であり、周知の際チラシ等の「3日前に予約」の文言を削除します。また、今後は当日利用のための受け入れ態勢の充実に努めてまいります。

14	親子関係形成事業について、こども家庭庁の事業だが、当ホームページ「令和6年度親子関係形成支援事業の取組見込等状況調査公表資料」に竜王町が掲載されているが？家庭教育支援の活動の一部、ペアレントトレーニングをこちらに仕切り直し、参加が少ない状態を変える検討も必要ではないか。ピアサポートの場づくりとしても。困難を抱える家庭またはその予防に対して、子どもや家庭を真ん中に考え、健康推進課だけではなく、自立支援課、生涯学習課、民間団体など連携して対応していく必要があるのではないか。	74	令和6年度当初の国の意向調査時点では事業の整備を検討しておりました。しかし、検討した結果当事業の整備は現段階では難しいと考えています。ペアレントトレーニングを実施している生涯学習課と、当事業の整備や家庭教育支援事業の在り方について検討していきます。 また、令和7年の意向調査においては、実施意向がないものとして報告する予定です。
----	--	----	---